

3、漸からのみ認識されねばならない。
 漸くして生起されたる現象を指してフアツシヨとするは謬論である。これはイタリー、ドイツ、オースタリーに於ける本來的なフアツシヨにあらずして、ブルジョア階級の反動化であり、適切に言へば對峙的勢力の増大である。
 フアツシムは飽くまでブルジョア支配の一形態であると同時にそれはブルジョア民主主義の有機的な發展によつて成立する。
 然も日本資本主義の發展はブルジョア、デモクラシーの徹底的遂行かなされなかつたばかりでなく、絶対勢力との抱合によつて發展した。
 故に議會政黨否認の大聲が獨り軍閥官僚の目醒しき進出かあつてもそれはブルジョア政黨政治の採扱ではなくして、復

4、現在に獨占經濟は初期の自由主義經濟の非統制から金融資本と國家資本の結合せる統制の下に進行し、それはより強力なる統一支配を希求され新たな政治編成に進行しつつある。
 上述の如く財閥、資本家の既成政治勢力と軍閥官僚の新政治勢力とは、現象的には之等の軋轢と摩擦を通じて、本質的には、客観的移行に伴ふ條件に調節されて、苟合し反動化し、據つて以て獨占資本の意圖たるブルジョア政治機構の確立と強化に一致し到達する。これら一切の反動的支配の過程に、所謂フアツシムの勢力は成長しつつある。